

R6 12月実施 学校評価結果 柚木中学校

4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない

項目	No.	評価内容	生徒	保護者	地域	教職員	平均	自己評価	学校関係者評価	自己評価 及び 考察・課題、3学期・次年度への方向性
1 学校の方針	1	柚木中精神「校門の第一歩は 学習の第一歩」を基本とした学校の指導方針は共感でき、特色ある教育活動に満足している	3.3	3.1	3.8	3.3	3.3	B	A	1 (1) 自己評価 Aよいと判断 ～原則全評価者平均3.5以上【20項目中2項目】 B概ねよいと判断 ～原則全評価者平均3.0以上～3.5未満【20項目中18項目】 C改善を要する ～原則 全評価者平均3.0未満【該当項目なし】 ※今年度全項目・全評価者平均 3.3 (2) 学校関係者評価 ※ 5名の学校関係者、それぞれの視点による評価を平均したものによる。 2 考察・課題 【学校の方針】4項目平均3.4 考察：・学校の方針については、おおむね理解していただいている。 ・今年度の人権学習は、各職員がコースを開設し、その中から生徒が選択して学習し、学習した内容をまとめ、学級内で発表する学習形態をとった。各人しっかりと取り組むことができ、人権教育・平和教育の項目について高評価が得られた。 課題：・学校の方針を今後も継続して、丁寧に説明し、学校・保護者・地域一体となって子どもたちのために尽力していく。 ・育友会との学校の方針を共有し、さらに連携・協力していく。
	2	学校では、生徒理解に基づく実態に即した生徒指導が行われ、不登校やいじめ、非行にも適切な対処がなされている	3.3	3.1	3.5	3.3	3.3			
	3	学校では、人権教育・平和教育が推進され、生命の尊重や個人の尊厳、豊かな心や社会のルールなどについて、考えを深めるための手立てがとられている	3.7	3.1	3.8	3.7	3.5			
	4	学校では、将来の進路や生き方について考えるための資料提供や場の設定が十分に行われ、連携のとれた進路指導がなされている	3.5	3.1	3.4	3.7	3.3			
2 指導の状況	5	教職員は、生徒をよく理解し、分かりやすい授業を行っている	3.3	2.8	3.8	3.4	3.2	B	B	【指導の状況】4項目平均3.3 考察：・授業においては、研究主題「主体的に自分の考えを形成し、表現する力の育成」を目指して、日々取り組んだ。1・2年生で全体研修、1・2・3年生で学年研修を行い、授業研究会を行った。難易度が低い課題を設定すれば、わかりやすい授業の項目の評価は上がるが、生徒の力が向上するとは限らない。難易度の高い課題を設定し、粘り強く取り組む姿勢が学力向上につながる。と考える。 ・保護者の皆様の評価で、「教職員は、生徒の悩みや相談に親身に対応している」の項目において2.9である。一方、生徒の評価は、3.6で0.7ポイントの差となっている。7月から0.1ポイント向上している。 課題：・授業改善については、さらに校内研修を行い、分かりやすい授業の展開と学力向上につなげていく。今年度から毎月、授業に関するアンケートを実施している。子どもたちの困り感にすぐに対応していく。「授業がよくわかりますか。」の項目について毎月90%近い生徒が肯定的な回答をしている。 ・生徒の悩み等の相談については、より一層、相談体制を整え、親身に誠実に対応していく。
	6	教職員は、一人ひとりが充実した学校生活を送れるよう、目配り・気配りをしている	3.4	3.0	3.5	3.4	3.3			
	7	教職員は、生徒と共に熱心に様々な活動に取り組んでいる	3.6	3.0	3.8	3.3	3.4			
	8	教職員は、生徒の悩みや相談に親身に対応している	3.6	2.9	3.5	3.4	3.3			
3 生徒の状況	9	生徒は、感謝と思いやりの心が育っている	3.3	3.0	3.5	3.3	3.2	B	B	課題：・授業改善については、さらに校内研修を行い、分かりやすい授業の展開と学力向上につなげていく。今年度から毎月、授業に関するアンケートを実施している。子どもたちの困り感にすぐに対応していく。「授業がよくわかりますか。」の項目について毎月90%近い生徒が肯定的な回答をしている。 ・生徒の悩み等の相談については、より一層、相談体制を整え、親身に誠実に対応していく。 【生徒の状況】6項目平均3.2 考察：・生徒の評価では、「生徒は、好ましい友達関係があり、楽しく登校している」が3.6の評価である。「学校行事や放課後の部活動に積極的に取り組んでいる」の項目が平均3.7と高評価である。 ・「生徒は、早寝・早起き・朝ごはん、家庭学習の習慣が身に付いている」の項目が平均3.1で7月から維持している。教職員の評価が0.2ポイント向上し、3.0となっている。生活ノートを活用した取組により、生徒の生活の実態が把握しやすくなったことが考えられる。 課題：・どの項目も平均3.1以上を維持しているがさらに向上させるため、教師が率先垂範するとともに、きちんと指導していく。 ・さらに家庭学習の習慣を身に付けさせるために、生活ノートの活用など継続して指導していく。 【教育環境・その他】6項目平均3.3 考察：・教職員は、「校内は、清掃が行き届いており、環境美化が十分になされている」が3.2である。9月以降、外壁工事等があり、校舎内が暗く、塗装の臭い等生徒には迷惑をかけている。1月に終了する予定です。ホームページは諸問題があり、一旦すべて削除しました。時間割、部活動計画、下校時刻表等は掲載していきます。 ・2学期は、3年生は修学旅行、2年生は職場体験学習、1年生はふるさと歴史発見学習や野外宿泊活動などを実施し、各学年地域教材や地域の教育力を積極的に活用することができた。柚木地区ふれあい祭りなど地域の行事も参加し、育友会奉仕作業も多くの会員の方にご協力いただき、大変助かりました。 課題：・清掃時間や人数に限りがあるが、清掃場所をローテーションするなど工夫して、美しい環境を保つ。 ・可能な限り、学校の状況を通信やホームページでお知らせいたします。
	10	生徒は、好ましい友達関係があり、楽しく登校している	3.6	3.2	3.4	3.1	3.4			
	11	生徒は、明るいあいさつや正しい言葉遣いができている	3.1	2.9	3.5	2.9	3.1			
	12	生徒は、学校や社会のルールやマナーを身につけている	3.2	3.0	3.3	2.9	3.1			
	13	生徒は、学校行事や放課後の部活動に積極的に取り組んでいる	3.7	3.3	3.5	3.7	3.5			
	14	生徒は、早寝・早起き・朝ごはん、家庭学習の習慣が身に付いている	3.2	3.0	3.2	3.0	3.1			
4 教育環境・その他	15	学校は、安全に対する配慮が十分なされており、施設・設備等も整えられている	3.4	3.2	3.5	3.3	3.4	B	B	3 3学期・次年度への方向性 (1) 誰もが感動する卒業証書授与式の実施に向け、全校生徒一丸となって取り組み、心身ともに調和のとれた生徒の育成を図る。 (2) 教職員と生徒・保護者との信頼関係をゆるがぬ基盤とした教育活動を推進していく。 (3) 心のこもった「あいさつ」により、「人と関わる力」や「故郷を大切にする心」を醸成する。「すべては目の前の子ども一人一人の未来のために」を念頭に置き、生徒、保護者、教職員ともに、充実した学校生活を送るようにする。 (4) 学力の向上（校内研修の充実、家庭学習の時間確保と質の向上（生活ノートの取組）、端末の有効活用等） (5) 基本的な生活習慣の確立（あいさつ、早寝・早起き・朝ごはんの習慣）
	16	教室は、掲示物も工夫されており、学習環境が整えられている	3.5	3.1	3.5	3.4	3.4			
	17	校内は、清掃が行き届いており、環境美化が十分になされている	3.4	3.1	3.5	2.9	3.2			
	18	学校は、子どもたちのことについて、家庭・地域と緊密に連携をとっている	3.5	3.1	3.5	3.4	3.3			
	19	学校の状況は、通信やホームページ等で知らせている	3.5	3.0	3.4	3.4	3.3			
	20	学校では、地域教材や地域の教育力の活用が積極的に行われている	3.4	3.1	3.5	3.2	3.3			

